

新海財第182号
令和8年3月25日

新潟市長様

公益財団法人新潟市海洋河川文化財団
代表理事 理事長 佐藤 明

新潟市水族館の管理に関する基本協定に係る
令和8年度業務計画書について

標記のことについて、新潟市水族館の管理に関する基本協定第20条に規定する業務
計画書及び収支予算書を別紙のとおり提出します。

新潟市水族館指定管理者 令和 8 年度業務計画書

※ 事業やショープログラム等については、名称・内容・実施時期等は案であり、変更する場合があります。

1 施設の管理・運営に関する業務

(1) 基本姿勢

「新潟市水族館の管理に関する基本協定書」「新潟市水族館の管理に関する年度協定書」に従い、「新潟市水族館条例」「新潟市水族館条例施行規則」及び、その他「新潟市水族館の管理運営業務を遂行する上で関連する法規」を遵守し、新潟市の示す「新潟市水族館の基本的使命」の具現化に向けて業務を推進します。

新潟市水族館の基本的使命のもと、当財団のミッションを「自然について楽しみながら学べる機会を提供し、生命の多様性が尊重される社会に貢献する」、ビジョンを「新潟で一番愛される施設を目指す」とし、多くのお客様に来ていただけるような魅力ある事業を展開し、サービスの徹底、満足度向上に努めてまいります。

業務に必要な専門的知識や技能・資格等を備えた職員を配置し、平成 2 年の開館当初から培ってきた豊富な知識と経験を生かし、「安全・安心の確保」「安定した施設運営」を心掛け、効果的かつ効率的な管理運営を行っていきます。

(2) 入館者・入館料収入

「新潟市水族館条例」「新潟市水族館条例施行規則」に則り、適正に入館料徴収事務を行っていきます。令和 8 年度の入館者数及び入館料収入の目標値は下記のとおりです。

	目標値	目標値の設定根拠
入館者数	550,000 人 以上	新潟市令和 8 年度当初予算（端数整理）
入館料収入	478,719 千円 以上	

工夫・改良をしながら水族館の魅力を最大限に発揮し、充実したサービスを提供し、目標値に達するよう努めます。常におもてなしの心を持ち、「来てよかった、また来たい」と感じてもらえるようなサービス提供を心掛け、リピーターの確保に努めていきます。

(3) 臨時開館・閉館及び開館時間の変更

条例上、水族館の休館日は 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日、開館時間は午前 9 時から午後 5 時までとなっていますが、多客期の市民サービス及び法定点検等のため、新潟市と協議のうえ、以下の期間について臨時開館・休館、開館時間延長を実施したいと考えています。

- ① 臨時開館（年始）… 令和 9 年 1 月 2 日（土）・3 日（日）
- ② 臨時閉館（電気設備法定点検等）… 令和 9 年 3 月 4 日（木）・5 日（金）
- ③ 開館時間変更
 - a. GW… 令和 8 年 5 月 2 日（土・祝）～5 月 5 日（火・祝）
開館時間 1 時間繰上（8：00～17：00）
 - b. 海の日 3 連休…令和 8 年 7 月 18 日（土）～20 日（月・祝）
開館時間 1 時間繰上（8：00～17：00）

c. 夏期… 令和8年7月25日（土）～8月11日（火・祝）の土曜・日曜・祝日

開館時間 1 時間繰上（8：00～17：00）

d. お盆… 令和8年8月12日（水）～15日（土）

開館時間 1 時間繰上（8：00～17：00）

（ただし、③は予定。4月～7月上旬の入館状況による。）

2 事業の実施に関する業務

（1）水族館展示基礎部門（常設展示）

「新潟市水族館の管理に関する基本協定書」で示す 600 種、20,000 点の飼育規模を維持し、科学的配慮のもとに 10 の展示ゾーンでわかりやすく展示します。展示生物の充実と正確かつタイムリーな情報提供に努め、リピーター、特に年間パスポート利用者に対しても常に新鮮味のある、魅力溢れる常設展示を行います。

① 潮風の風景

サンゴ礁や干潟などさまざまな海岸環境を再現し、そこに生息する生物等を展示します。

② 日本海－大陸と列島に囲まれた海－

日本海に生息する生物等を浅瀬や深場等の環境ごとに分かりやすく展示します。「日本海大水槽解説」では、水生生物や海洋環境に関する知識の普及を目的に、日本海大水槽前で展示課職員による解説を実施します。展示生物の紹介、水族館のしくみなど多角的な解説をします。

③ 暖流の旅－黒潮と対馬海流－

日本近海の対馬海流や黒潮域で見られる生物等の展示や、育成室で育成の様子を展示します。

④ 信濃川－多様な陸水環境と魚類－

信濃川流域の多様な環境と水生生物を、擬岩などの造形物や写真、解説パネルなどを用い展示します。

⑤ 体験・学習

アクアラボで生物標本の展示等を行い、「アクアラボ体験」では水生生物に対する知識と理解を深める事を目的として観察と解説を行います。また、磯の生物に触れることのできる水槽で「磯のいきもの解説」を行い、水槽内の生物を近くで観察することによって、生物の扱い方や、生息環境への理解を深めていただきます。他に開架式ライブラリーの充実に努めます。

⑥ 水辺の小動物

アメリカビーバー、ユーラシアカワウソ、バイカルアザラシ、ウミガラスといった半水棲の水辺に生息する生物を展示します。

⑦ ドルフィNSTAジウム

イルカの体のつくり、学習運動能力をショー形式で紹介します。ショーを通じてイルカの形態や生態・能力、ヒトとの関わり、海洋環境保全メッセージなどをわかりやすく伝えます。

⑧ マリンサファリーひれあしの入江－

トド、ゴマフアザラシ等ひれあし類を展示します。「マリンサファリー給餌解説」では餌を与えながら、からだのつくりや健康管理、運動能力などについて解説します。

⑨ ペンギン海岸

フンボルトペンギンを展示します。「ペンギン解説」ではフンボルトペンギンについて解説し、ペンギン海岸プールで餌を与えながら泳ぎ方や餌の捕り方を説明します。また、急速に個体数が減少している生息地の現状や、種の保全という立場から長年繁殖に力を入れてきた館の取り組みも解説します。

⑩ にいがたフィールド

新潟市近郊で見られる砂丘湖、田んぼなどを再現し、そこで見られる生物や季節による変化を紹介するとともに、地域の希少生物などの繁殖を目指します。

(2) 啓発・普及部門（企画展示・特別プログラム等）

魚類等や新潟の自然環境に関する知識を広げるため、教育的視点から施設を最大限利用するとともに地域の自然環境に出向き、幅広い市民ニーズに応えるため、職員の専門知識を活かした多様なプログラムを企画・提供します。

① 野外体験教室（自主事業）

(ア) 貝の標本づくり

地先海岸で貝を採集し、採集した貝を用いて種の同定方法と標本作製の手順を学び実践します。

(イ) 夜のスナガニ観察会

夜の砂浜でスナガニの採集を行い、体のつくりや日中では見られない夜間の行動を観察します。

(ウ) 潟のいきもの観察会＜ラムサール条約湿地都市連携事業＞※

潟と周辺の水路で水生生物を採集・観察します。生物だけでなく、潟の環境や生態系などについても学びます。

※新潟市が認証自治体であることを受け、湿地や新潟市について関心を高める内容を含む事業

② SDGs 関連イベント

清掃活動を通して、生物の生息する環境や環境に影響する海ゴミの問題について多くの方に考えてもらう機会とします。

③ マリンピアカレッジ（講演会）（自主事業）

(ア) グラスアクアリウム 自分だけの小さな地球を作ろう

グラスアクアリウムの維持管理方法や生態系の仕組みについて学ぶとともに、講師の体験談を交えた講演を実施します。

【講師：有限会社エイチツー代表 早坂誠氏】

(イ) さわって学ぼう！骨からわかる動物の秘密～陸と海の生きものの編～

麻布大学いのちの博物館とその解説サークル「ミュゼット」と連携し、学生が作製した骨格標本と当館の標本を用い、触れる体験やワークショップを通じて生き物の構造を学ぶ機会を設けます。

【講師：麻布大学 教授 島津徳人氏及び学生サークル「ミュゼット」の学生】

(ウ) ペンギンの話

フンボルトペンギンの生態や生息地などについて、専門講師による講演を実施します。あわ

せて「ペンギンすごろく」をとおして楽しみながら学べる機会を提供します。

【講師：前目黒高等学校 教諭・ペンギン会議研究員 上田一生氏】

④ 特別講演会（自主事業）

（ア）研究者が語る野生鯨類調査

野生の鯨類調査を長年実施している専門機関から講師を招き、現状の鯨類の個体数や分布、モニタリング調査結果について講演を実施します。

【講師：国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所職員】

（イ）イカの話

イカの体の構造や捕食行動について、工作キットを用いた体験学習をとおして理解を深めるとともに、イカ類の知られざる繁殖戦略について講演を実施します。

【講師：東京大学大気海洋研究所 准教授 岩田容子】

（ウ）水族館職員が語る水族館での魚の研究

職員が実施している水生生物に関する研究について、研究の目的や内容、さらにその成果がどのように活用されるかを紹介します。

【講師：新潟市水族館職員】

⑤ 学校教育連携

（ア）総合学習の受入

水生生物や環境問題などについての質問やキャリア教育など、学校のニーズに合わせ、写真や資料を用いて講義します。

（イ）実習生の受入

専門学校生、大学生を対象に飼育実習、獣医実習、博物館実習を行い、飼育技術や展示技術・教育方法などの現場実習を行います。

（ウ）教育現場への講師の派遣

アウトリーチ事業の一環として学校等へ赴き、野外観察などの指導、生物や仕事についての講義・指導を行います。

（エ）地元大学との連携

隣接する学校法人新潟青陵学園と連携を深め、双方の発展的な教育と研究の推進に向けて互いに協力し、地域の発展と人材の育成に寄与します。

⑥ 行政機関連携（自主事業）

（ア）小児病棟へのライブ配信

新潟県立がんセンターの小児病棟に入院中の病児へ、日本海大水槽やペンギン、イルカショーなどのライブ配信をします。

（イ）行政機関との連携イベント

省庁、自治体などと連携し、パネル展示やワークショップなどで水生生物や海洋河川及び地域振興に関しての情報を発信します。

⑦ 出張展示（自主事業）

他施設・他団体と協力し、館外へ出向いて水生生物の生体展示、クイズ大会、ワークショップなどを行い、楽しく学ぶ機会を提供します。

⑧ 企画展示

（ア）カマイルカレスキュー～保護から放流までの活動記録～

令和5年2月14日に座礁したカマイルカの保護から治療、リハビリ、放流までの映像や実際に使用した道具などを紹介する。また、鯨類等のストランディング（座礁、漂着）について、水族館の活動と共に解説します。

(イ) 生き物を見分ける～観察・比較・発見の体験～

種を確定させる作業（同定）の難しさや面白さを紹介するとともに、体験コーナーを設け、来館者が同定作業を体験できる機会を提供します。

(ウ) 水族館で働くスタッフに注目

水族館で働く人がどのような仕事をしているかパネルやモニターを使って紹介します。また、日々使用している道具なども併せて紹介します。

⑨ パネル展示

(ア) 魚の耳石展

耳石について知ってもらうため、耳石を利用した調査研究や耳石の取り方などをパネルでくわしく紹介します。

(イ) 「SADO～世界に誇る自然と文化～」

昨年度、新潟市水族館で実施した企画展示「SADO～世界に誇る自然と文化～」の巡回展として新潟県立図書館で実施します。

(ウ) 16の潟のパネル展＜ラムサール条約湿地都市連携事業＞

「世界湿地都市ネットワーク市長会議 in 新潟」の開催に合わせて新潟市内にある16の潟を紹介します。

⑩ いきもの教室（自主事業）

(ア) ちりめんじゃこの観察～成体と幼体の不思議な違い～

ちりめんと一緒に漁獲される生き物（ちりもん）の正体を調べて図鑑を作ります。成体と幼体の形や生活様式の違いなどを学びます。

(イ) 魚の解剖

魚の外側のつくりと解剖したからだの内側のつくりや生体の観察を行います。

(ウ) エビの解剖

冷凍エビを用い、解剖しながら解説を行います。その他、スライドで甲殻類やエビ類の紹介、ワークシートを用いたスケッチや生体観察を通して、エビ類の形態的特徴や体のつくりを学びます。

⑪ 障がい者向けプログラム（自主事業）

(ア) ドリームナイト・アット・ジ・アクアリウム

障がいのある子どもとその家族等を閉館後の水族館へ招待します。周囲に気兼ねしない楽しいひとときを過ごしてもらいます。

(イ) サイレントウィーク「ちょっと静かな水族館」

感覚過敏の方も楽しめるインクルーシブな取り組みとして、音環境に配慮し、館内BGMや解説など館内の人工的な音を最小限に抑えます。生き物が発する音や水の音などをじっくりと感じ取れる静かな環境を提供します。

⑫ ガイドツアー（自主事業）

(ア) 企画展示ガイドツアー

企画展示「生き物を見分けるー観察・比較・発見の体験ー」の会場でツアー形式の解説を 8 月～2 月に毎月 1 回実施します。

(イ)イルカバックヤードミニガイド

イルカ飼育設備のバックヤードやステージで解説を聞きながら見学し、イルカの生態について学ぶ機会を設けます。

⑬ 参加型イベント

(ア) にいがたフィールドガイド<ラムサール条約湿地都市連携事業>

にいがたフィールドを歩きながら、自然環境と希少生物の域外保全について伝えます。季節の変化を感じられる 4 月～12 月に毎月 1 回開催します。

(イ) ナイトアクアリウム

閉館後に夜の水族館を観覧する機会を提供し、観覧中、日本海大水槽の消灯やウミホテルの発光実験、館内各所での解説、ガイドツアーを実施します。

⑭ 記念日イベント

(ア) ペンギンの日

世界ペンギンの日(4 月 25 日)にあわせ、通常展示だけでは伝えきれないペンギンの生態や野生での現状について理解を深めるためのイベントを実施します。

(イ) カワウソの日

世界カワウソの日(5 月最終水曜日)にあわせ、カワウソ類の生態や野生での生息状況について、解説パネルによる展示を行うとともに、ユーラシアカワウソへの給餌を交えた解説を実施します。

(3) 調査・研究部門

科学的な飼育や展示、および科学技術の発展のため、魚類等に関する調査研究を行います。その成果をホームページ・SNS・研究会等での情報発信、また常設・企画展示につなげることで広く還元するよう努めます。他業務との調整を図りながら調査研究を積極的に実施します。

① 飼育生物に関する調査研究

魚類や無脊椎動物等、飼育生物の繁殖・育成を水産研究機関等と取り組むほか、鳥類では通年得られる検体やデータを用いて大学等の研究機関と協力し、生物学等の知見の蓄積に貢献するとともに、研究成果等を展示に反映させます。

② 野生水族に関する調査研究 ー地域の自然史に関する知見の蓄積と公開ー

漂着生物の情報を収集し、生態学的・生物学的解明に役立てます。現場で計測と状態の確認、標本採取などを行います。得られた情報及び資料は、展示に反映させます。佐渡海峡に生息する生物の調査研究を行い、環境教育等に役立てます。

③ 希少水族に関する調査研究 ー繁殖、種保存活動、希少水族の生息域調査、生息域外保全に関する知見の蓄積と公開ー

公益社団法人日本動物園水族館協会の繁殖計画に則し、フンボルトペンギンの生息域外保全(飼育下の繁殖等)に取り組めます。シナイモツゴ、ホトケドジョウ、コシノハゼ、キタノアカヒレタビラ、ニホンイトヨ、ハクバサンショウウオ、タダミハコネサンショウウオの生息調査を行い、これらの繁殖技術の確立、向上に取り組めます。また、一般社団法人日本水族館協会の科学的根拠に基づく水生生物資源の持続的利用の立場による水生生物の飼育展示・教育研究・保護保全活

動に協力し、飼育技術の向上、調査研究に取り組みます。

3 市民ボランティア

市民ボランティアの活動目的を大きく「水族館運営のパートナーとして」「来館者と水族館をつなぐ役割として」「生涯学習の場として」の3つとし、活動の運営を行います。現在79名が登録していますが、館のイベントの補助、館内案内、磯の体験水槽解説、ビーチクリーン活動などを通して、職員や来館者との交流等の活動を促し、前記の3つがバランス良く達成できるように努めます。

令和8年度は5月中旬頃から6月にかけて新規募集、6月に全2回の新人研修を行い、7月に正式登録し活動を開始するスケジュールを考えています。

一人ひとりのボランティアの自己実現をサポートするとともに、水族館・来館者・ボランティアの3者が満足できる活動を推進し、持続的なボランティア活動を目指します。

4 他館等との協力

平成19年に友好館提携を結んだ「アクアマリンふくしま」をはじめ、他の水族館・動物園、研究機関等と協力し、生物交換、飼育生物の繁殖や育成に関する情報交換・技術交流などを活発に行います。

また、行政機関や自然保護団体等と協力し、種の保存や自然保護の啓発に努めます。

その他大規模災害に備え令和2年に「東京都葛西臨海水族園」と、令和6年からは「名古屋港水族館」を加えた3者で相互救援に関する協定を締結し、密に情報を交換するなど、救援活動を円滑に行う体制を築きます。

5 広報・広告宣伝について

各メディアの特性を把握しながら最適な広報・広告宣伝ができるように努めます。

「自社メディア（HPやチラシなど）」「ソーシャルメディア（XやInstagramなど）」「プレスリリース」「有料広告宣伝（TVスポット・情報誌など）」を4つの柱として行います。

「自社メディア」として、ホームページやチラシ・ポスターなどを活用します。ホームページは、より解りやすい表現やイメージしやすい写真を活用し、タイムリーな情報を発信します。チラシやポスターなどの印刷メディアの制作にも力を入れ、館内での掲示や配布だけでなく、県内及び隣県の小学校や幼稚園・保育園など対象に合わせた紙面づくり行います。

「ソーシャルメディア」での情報発信を積極的に展開します。展示生物の紹介や一瞬の出来事を写真や動画とともに魅力的に発信するため、展示スタッフによるX等SNSの運用を行います。また、SNSなどインターネット上のサービスを活用し、エリアを限定し効率的、効果的な広告展開を行います。各メディアそれぞれの特性を考慮した情報発信方法を研究し、目的に応じた使い分けを行います。

テレビや新聞のニュースとして取り上げてもらえるように「プレスリリース」を含むメディアへの情報提供を積極的に行うことも重要課題と考えています。インターネットメディアでは、新潟市の各部署が展開しているSNSページや観光コンベンション協会運営の観光情報サイト、県内向け情報提供サイトなどへの積極的な情報提供を行い、草の根の広報を進めていきたいと考えています。

「有料広告宣伝」は、これまでの実績をふまえた上で、しかし前例にとらわれすぎることのないよう

に、効率的、効果的な方法および量になるように実施します。実施利用するメディアは、「テレビ CM (15 秒)」「テレビ番組内コーナー (1 分/週)」「ラジオ CM (20 秒)」「旅行雑誌広告」「タウン情報誌・フリーペーパー広告」「新聞広告」「Web・ソーシャルメディア広告」を想定しています。これらのメディアを限られた予算の中でより効果的にプロモーションできるように、メディア配分、実施時期、地域および客層について計画します。

ターゲットとする地域は、平時は新潟県内を中心に、繁忙期は県外からの観光客を意識した方法及び量を検討し実施します。新潟県内は年間を通してテレビ CM を実施します。より多くの方が新潟市水族館へ足を運びたいような仕掛けを計画します。

6 アンケートの活用

館内アンケートや各教室参加者アンケート等を実施することで、来館者の声の収集に努め、その声を検証し、事業実施や事業の改善に役立てていきます。

「館内アンケート」は、満足度を数値化できるような設問を盛り込むことで、各種サービス別に来館者の客観的な評価やニーズの把握に努めます。また、「各教室参加者」等の水族館ファン層に対する「質的」なアンケートの分析などにより、ニーズをきめ細かに把握することで、展示の充実および来館者サービスの向上に努めます。その他、館内に設置した「意見箱」で、館内をご覧いただいた際の率直な意見をいただき、水族館の管理運営改善に活用します。

7 収益事業（自主事業）

来館者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置を行います。自動販売機については利益の一部を施設の運営に充てます。

① レストラン	1 ケ所・本館 2 階
② 軽食売店	2 ケ所・屋外、屋上 ※季節営業
③ 移動販売車	1 ケ所・アプローチ棟手前 ※季節営業
④ 売店	1 ケ所・アプローチ棟
⑤ 自動販売機	18 台・館内、屋外各所
⑥ ロッカー	1 ケ所・アプローチ棟
⑦ 記念メダル	2 ケ所・本館 1 階
⑧ プリントシール機	1 ケ所・水辺の小動物
⑨ カプセルトイ（コイのエサ）	1 ケ所・ニシキゴイ池脇

新潟市水族館指定管理者 令和8年度収支予算書

【収入】

(単位：千円)

科 目	令和8年度	備 考
指定管理料	670,477	
自主事業	86,185	普及啓発事業2,830 付帯事業83,355
合 計	756,662	

【支出】

(単位：千円)

科 目	令和8年度	備 考
人件費	207,884	プロパー23名分、再雇用2名分 ほか
賃金	55,193	臨時職員23名分
報償費	170	職員接遇研修
旅費	1,571	社) 日本動物園水族館協会主催会議出席、生物運搬等
消耗品費	44,356	生物購入、薬品、飼料等
印刷製本費	1,342	リーフレット印刷、チケット印刷等
燃料費	373	業務用車燃料
光熱水費	184,642	
上水道	12,296	
下水道	14,748	
電気	133,227	
ガス	24,371	
修繕料	3,577	施設修繕
その他需用費	63	
役務費	7,248	治療、通信、旅行業者誘客手数料、保険等
広告宣伝費	20,000	テレビ・ラジオCM周知等
委託料	79,946	施設管理業務、消防設備保守点検業務等
使用料及び賃借料	3,227	業務用車リース等
工事請負費	30,000	施設維持補修
備品費	4,666	生物・施設備品購入
負担金補助及び交付金	579	動物園水族館協会他団体の会費等
公租公課費	25,640	消費税、印紙等
自主事業	49,235	普及啓発事業11,383 付帯事業37,852
合 計	719,712	

令和8年度 水族館指定管理事業費 執行計画

単位：千円

		執行計画															
予算額		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月以降	計		
人件費 (A)	207,884	20,927	13,159	32,611	13,158	13,158	13,157	13,157	13,154	32,605	13,154	13,155	13,155	3,334	207,884		
	報酬	778	778	778	778	778	778	778	777	777	777	777	777	0	9,331		
	給料	7,874	7,874	7,874	7,874	7,874	7,874	7,874	7,874	7,874	7,874	7,875	7,875	0	94,490		
	手当等	509	1,136	20,588	1,135	1,135	1,135	1,135	1,133	20,584	1,133	1,133	1,133	626	52,515		
	扶養手当	215	215	215	214	214	214	214	214	214	214	214	214	0	2,571		
	通勤手当	117	117	117	117	117	117	117	116	116	116	116	116	0	1,399		
	住居手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	時間外手当	0	627	627	627	627	627	627	626	626	626	626	626	626	7,518		
	期末勤劬手当	0	0	19,452	0	0	0	0	0	0	19,451	0	0	0	0	38,903	
	地域手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他手当	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177	0	2,124		
法定福利費	32,500	0	2,709	2,709	2,709	2,709	2,708	2,708	2,708	2,708	2,708	2,708	2,708	2,708	32,500		
福利厚生費	7,944	662	662	662	662	662	662	662	662	662	662	662	662	0	7,944		
退職給付金	11,104	11,104	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,104		
経費 (B)	462,593	32,254	40,977	40,446	35,151	44,492	35,962	29,583	31,665	32,454	29,309	42,586	36,072	31,642	462,593		
賃金	55,193	0	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	4,599	4,599	4,599	4,599	4,599	4,599	4,599	55,193		
報償費	170	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170		
旅費	1,571	131	131	131	131	131	131	131	131	131	131	131	130	0	1,571		
需用費	234,353	9,379	15,520	19,900	14,989	21,844	17,641	18,267	14,710	20,158	18,770	25,374	21,044	16,757	234,353		
消耗品費	44,356	4,264	3,645	3,645	3,645	3,645	3,645	3,645	3,645	3,645	3,645	3,644	3,643	0	44,356		
燃料費	373	32	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	0	373		
印刷製本費	1,342	642	64	64	64	64	64	64	64	63	63	63	63	0	1,342		
光熱水費	184,642	4,441	11,475	15,856	10,945	17,801	13,598	14,224	10,667	16,116	14,728	21,333	17,004	16,454	184,642		
修繕料	3,577	0	299	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	3,577		
その他	63	0	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	63		
役務費	7,248	1,088	563	562	562	560	559	559	559	559	559	559	559	0	7,248		
広告宣伝費	20,000	5,000	1,500	1,500	5,000	2,000	1,000	1,000	0	0	1,000	1,000	1,000	0	20,000		
委託料	79,946	6,794	9,635	7,725	6,141	5,458	8,605	4,602	4,869	5,937	3,825	4,126	8,322	3,907	79,946		
使用料・賃借料	3,227	253	213	213	213	212	212	211	211	856	211	211	211	0	3,227		
工事費	30,000	8,000	8,000	5,000	3,000	3,000	3,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000		
備品費	4,666	807	806	806	506	306	206	206	206	206	206	206	199	0	4,666		
負担金補助及び交付金	579	579	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	579		
公租公課費	25,640	53	9	9	9	6,381	8	8	6,380	8	8	6,380	8	6,379	25,640		
小計 (A)+(B)	670,477	53,181	54,136	73,057	48,309	57,650	49,119	42,740	44,819	65,059	42,463	55,741	49,227	34,976	670,477		